

リベリア
ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト
現地からのお便り

2017 年 8 月
コンサベーション・インターナショナル

保全契約 1：家畜飼育

前回のお便りでご報告したように、Gbopayee と Yolowee の両村で豚舎が完成し、3 組ずつの子豚の飼育が始まりました。

Gbopayee 村から 12 人と Yolowee 村から 14 人の合計 26 人の豚の世話係の村人が、餌やり、豚舎を清潔に保つ方法、豚の健康状態を見分ける方法、病気予防のワクチン、病気になった際の処置等の豚の飼育方法についてのトレーニングを受けました。コミュニティが豚を健康に丸々と育てられるようになるために、重要なトレーニングです。



豚の健康状態をチェックする Gbopayee 村の
豚世話人代表



Yolowee 村の豚舎

当初、Gbopayee 村からは 21 人の村人がトレーニングを受ける予定でしたが、都合がつかず、残念ながら 9 人が欠席しました。



Yolowee 村の豚



Gbopayee 村の豚

保全契約2：フロントライン保護官

今期、二つの村で合計 432 回パトロールを実施しました。パトロールを行ったのは、24 人のフロントライン保護官です。432 回のうち、10 回は東ニンバ保護区内を、残りの 422 回は村及びその周辺の森林を見回りました。

パトロールの結果、合計 20 の違反行為が発見されました。東ニンバ保護区内での違反行為は、1. 森林局からの許可なしで東ニンバ保護区内を通過、2. 空の薬きょう、3. 猟師の足跡と通った跡、4. 罾用のワイヤーで、12 件に上りました。村の中での違反行為はありませんでしたが、周辺の森林では、1. 空の薬きょう、2. 猟師の通った跡、3. 罾用のワイヤー、4. 銃の音の合計 8 件の違反行為が発見されました。

発見された違反行為は、村の既存の自治体制で対処されました。例えば、東ニンバ保護区を通過していた違反者は、Yolowee の委員会に差し出され、現金 20 ドル、1 ガロン（約 3.8 リットル）の油、ヤシワイン、鶏が罰金として科せられました。罰金は、村の活動費に充てられます。

フロントライン保護官のほとんどは、字の読み書きが不自由なため、パトロールの報告が簡単ではありません。また、カメラが不足しているため、違反の現場の証拠写真を撮影するのに苦労しています。



Gbobaya 村のフロントライン保護官にパトロールについて説明

保全契約のモニタリング

コミュニティが保全契約の内容を守り、コミュニティによる違反行為を減らすため、保全契約のモニタリング重要です。今期は雨が多く、村へのアクセスが非常に悪くなり、モニタリングの実施にも影響しましたが、保全契約の内容を見直すための会合を各村で行いました。



Gbobaya 村での会合の参加者



Yolowee 村の会合参加者



Yolowee 村の会合の様子

(全ての写真は、© Conservation International/Photo by Alison Miah)